

1. 発足 2007年7月に31名で発足（当時の村井会長の回覧板呼びかけに応募）

現在の隊員は約60名。要援護者支援を含めた自主防災ボランティア組織。
今年9月の防災訓練参加隊員は30名（昨年37名）。これが1回行事での最大の動員数。
一方で助ける対象の要援護者の登録数は約100名で推移。

2. 年間行事

- ・3大行事 4月お花見会（要援護者を招待）、7月夏祭り（設営・片付け・お神輿誘導）、9月防災訓練
- ・日常活動 月1回の防災パトロール（各分隊で実施）
月1回の分隊長会議で行事企画
- ・隊員研修 年1回程度、今年は6月に鎌倉市防災課の講演、通常は機器操作訓練を実施。
- ・年1回3月の全分隊会議（いわゆる総会）、年1回12月ごろの各分隊会議（茶話会）。

3. 特長

- ・他の自治会にもある自主防災活動に加え要援護者支援を加えたこと。
- ・玉縄台を地域5分割して5分隊あり、分隊長1名+副分隊長2名が中心となる。
隊長1名、副隊長2名。
- ・隊員の任期はなし、元気で本人が辞退しなければ継続、年度ごとの引継ぎは不要。
- ・自治会内の組織として最大の動員力を有する。
- ・災害なくとも例えば高齢者宅前の雪かき率先や通常の自治会活動の後方支援。

4. 要援護者の登録更新方法（福祉分野での要支援、要介護との関連付けはない）

- ・前期5月、後期10月 組長の自治会費徴収時（各戸訪問）の情報からその後分隊長が訪問調査し本人から意向や様子を聞く。
- ・鎌倉市災害時支援希望名簿（11月自治会長）に記載された本人を訪問し
TTQ 要援護登録の意向を聞く。
- ・そうして集めた要援護者情報は機密管理（レベル#1>レベル#2>レベル#3）し
レベル#3は組長引継ぎ

5. 問題点

- ・TTQ 隊員の高齢化、隊員募集しても新しく応募してくれない。個別の一本釣りに頼る。
- ・無償のボランティア、労力奉仕が長年続くことの飽き。
⇒ 何らかの参加メリット（知り合い、スキル、知識）をもたせたい。

6. これからの取り組み

- ・ホームページなど広報活動、一斉メールでの連絡
- ・TTQ サポーター（隊員ではないがいざというとき応援する）

既存の参考資料

- ・年間行事实績表（全分隊会議資料より）、初動基準、隊員募集資料、TTQ ホームページ、保有装備一覧、TTQ の歌（隊員作詞）